

グラフの思ひ出

5 10 15 20

君の主筆社

高橋君、「初等数学研究」発刊の辞に 木岡先生
の「数学雑誌」といふを御見せ、僕は若くしての
世の時に、同志の懇話会に在りては、君の雑誌
ありては、君の雑誌の発行に、君の雑誌の発行を
思ひ出さす。昭和15年(1940)のころ、君
は僕の下宿に下宿して居た筈から、或は知居た
かも知れない。

この思ひ出から、僕は今少し意味深い^{グラフ}の思ひ出
を君に語りたい。左せなら、廣い世の中は、僕はたゞ少しは、
僕も联想が様な人々もある。僕はたゞ少しは、
21で、僕一人のグラフと関する思ひ出を語り、
●「数学教育」は送達部の正確な資料の
のである。これは僕一人の思ひ出に過ぎないから、
林先生、岡枝先生などの外、斯方面に書かれた浦口
善治先生などの講話を、君の雑誌に載せ
るに盡力して呉れまいか。斯様な資料は「数学教育」
史上極めて重要なものと僕は確信して居る。

さて僕は 加藤悟郎氏の著「グラフの研究」(大正15年、
大阪南成館)の序に、かゝる書いたことがある。——
「我が観念を以て伴化するといふグラフ」——

(41年)

僕は世 昭和42年 以来 クラインの *Elementen mathematik* (1)
や *Vorträge* を通じて、フランス、ドイツの「数学教育」
PAG (送達部) 註文を寄せ、ゲーリッセルの「42年」の教科書
(僕の買ったのは1911年の再版(昭和44))とボームの教科書のドイツ
を洗った。そして大分グラフ通なつて居たのである。

(1) 「初等数学研究」昭和6年7月号の68頁に、
した文章は、僕が「^{問答氏の書抄(注)に}
「クラインの「初等数学」の「注」として書いた、
よく御覧願ひ。君は僕の文章から無断借用したのか。僕は君の
の批評を何で洗ったか。

我が国
に於て
10
高橋君
君のよ
いによ
僕は
昭和39
15
化学の
を止め
から、
若くし
てを
した

一冊の
でおか
し
之を
採録
し

付録
(108)

僕は Encyklopädie der math. Wissenschaften ~~の~~ ~~1-4~~ ~~の~~ ~~存在~~
を知り、その存在を知り、よく高等学~~校~~ ~~の~~ ~~研究~~
図表 ~~の~~ ~~就~~ ~~は~~、何人か自分で証明を試みたことがある。

「東京物理化学雑誌」第17巻(明治41)の方にお、「工学会」とい
いの中、僕は「二次方程式の4スクリミナントの代何学的
説明」を述べたとある。 ~~その~~ ~~こと~~ ~~は~~、1モゴラフイ-の論文
大に参考がある。その頃 Schilling, über die Nomenographie 也
少し読んで、充分理解した ~~こと~~ ~~は~~、 ~~その~~ ~~頃~~ ~~に~~ ~~居~~ ~~る~~。

明治44年 ~~の~~ ~~春~~ ~~に~~ ~~仙~~ ~~台~~ ~~に~~ ~~赴~~ ~~き~~ ~~て~~ ~~居~~ ~~る~~。東北大学で
最初は ~~その~~ ~~研究~~ ~~は~~ ~~重要~~ ~~な~~ ~~こと~~ ~~は~~ ~~な~~ ~~か~~ ~~ら~~ ~~な~~ ~~か~~ ~~つ~~ ~~た~~。大正2年 ~~の~~ ~~秋~~ ~~に~~ ~~大~~ ~~森~~ ~~重~~ ~~三~~ ~~君~~ ~~と~~ ~~い~~ ~~ひ~~ ~~の~~ ~~り~~、
南学式 ~~に~~ ~~従~~ ~~ひ~~ ~~て~~、数学教室の序列表を作ったため、
●高等工業学校 ~~の~~ ~~人~~ ~~を~~ ~~頼~~ ~~り~~ ~~て~~、クライムの本 ~~を~~ ~~採~~ ~~り~~ ~~か~~ ~~ら~~ ~~い~~ ~~て~~、

10 面白そうな図を大きく書いて貰った。 ~~この~~ ~~図~~ ~~の~~ ~~が~~ ~~何~~ ~~が~~ ~~3~~ ~~4~~
か ~~の~~ ~~掲~~ ~~げ~~ ~~は~~ ~~、~~ ~~それ~~ ~~は~~ ~~、~~ ~~今~~ ~~から~~ ~~思~~ ~~つ~~ ~~は~~ ~~、~~ ~~湯~~ ~~野~~ ~~の~~ ~~思~~ ~~は~~ ~~い~~ ~~は~~ ~~る~~ ~~の~~ ~~大~~ ~~学~~ ~~の~~ ~~教~~ ~~授~~ ~~に~~ ~~係~~ ~~り~~ ~~、~~ ~~その~~ ~~年~~ ~~の~~ ~~学~~ ~~術~~ ~~研~~ ~~究~~ ~~を~~ ~~導~~ ~~き~~ ~~、~~ ~~故~~ ~~人~~ ~~小~~ ~~島~~ ~~鐵~~ ~~藏~~ ~~君~~ ~~の~~ ~~微~~ ~~分~~ ~~方~~ ~~程~~ ~~の~~ ~~圓~~ ~~的~~ ~~解~~ ~~法~~ ~~を~~ ~~研~~ ~~究~~ ~~し~~ ~~て~~ ~~居~~ ~~た~~ ~~こと~~ ~~を~~ ~~思~~ ~~ふ~~。

鐵藏君は微分方程式の圓的解法を研究して居たこと
を思ふ。

15 私は某三臨時教員養成所 ~~の~~ ~~了~~ ~~業~~ ~~師~~ ~~を~~ ~~並~~ ~~ね~~ ~~て~~ ~~居~~ ~~た~~ ~~が~~、
三年生の学生にセリ-をやさせた。それは大正2年の秋から
大正3年の ~~の~~ ~~三~~ ~~月~~ ~~ま~~ ~~じ~~ ~~の~~ ~~こ~~ ~~と~~ ~~で~~ ~~あ~~ ~~る~~。小森重三君といひのり、
がら研究をやったことになったが、僕は標準曲線の ~~こと~~ ~~を~~ ~~な~~ ~~か~~ ~~ら~~ ~~い~~ ~~て~~、
(1モゴラフイ-の入門) ~~の~~ ~~こ~~ ~~と~~ ~~を~~ ~~な~~ ~~か~~ ~~ら~~ ~~い~~ ~~て~~、 ~~今~~ ~~は~~ ~~よ~~ ~~く~~ ~~覚~~ ~~え~~ ~~て~~ ~~居~~ ~~る~~ ~~が~~、
ながら、北山の ~~こ~~ ~~と~~ ~~を~~ ~~書~~ ~~き~~ ~~か~~ ~~せ~~ ~~た~~。小森君の ~~セ~~ ~~リ~~ ~~-~~ ~~の~~ ~~研~~ ~~究~~ ~~を~~ ~~導~~ ~~き~~、
研究 ~~の~~ ~~全~~ ~~部~~ ~~の~~ ~~生~~ ~~徒~~ ~~の~~ ~~注~~ ~~目~~ ~~が~~ ~~あ~~ ~~つ~~ ~~た~~ ~~こと~~ ~~を~~ ~~思~~ ~~ふ~~。 ~~この~~ ~~事~~ ~~が~~ ~~僕~~ ~~の~~ ~~研~~ ~~究~~ ~~の~~ ~~成~~ ~~功~~ ~~の~~ ~~一~~ ~~つ~~ ~~の~~ ~~因~~ ~~と~~ ~~い~~ ~~ふ~~ ~~こ~~ ~~と~~ ~~が~~、

20 丁度その頃物理化学出身の三浦惣市君 ~~(今~~ ~~は~~ ~~故~~ ~~人)~~ ~~が~~、
奉職先の ~~某~~ ~~中~~ ~~等~~ ~~学~~ ~~校~~ ~~か~~ ~~ら~~ ~~旅~~ ~~行~~ ~~の~~ ~~途~~ ~~中~~、仙台の ~~私~~ ~~宅~~ ~~に~~ ~~立~~ ~~寄~~ ~~ら~~ ~~れ~~ ~~た~~。君はがらの研究 ~~の~~ ~~興~~ ~~味~~ ~~を~~ ~~持~~ ~~ち~~、二
人 ~~が~~ ~~長~~ ~~時~~ ~~間~~ ~~話~~ ~~し~~ ~~合~~ ~~つ~~ ~~た~~ ~~こ~~ ~~と~~ ~~が~~ ~~あ~~ ~~る~~。

23

小島鐵藏君の微分方程式の圓的解法を研究して居たこと
を思ふ。

5

10

15

20

生のための数学」といふ三十分の講壇に、二次方程式の
 1. 0. 2. 3. 4. を説明し、また ~~長野県~~ 長野県中尋常師範学校協
 済会で「1. 0. 2. 3. 4. の概念」について講壇した。それ
 から津村文次郎君と「1. 0. 2. 3. 4. の応用」(大正11)を共著
 したといふ、私はフランスに留学した。

5

大正11年の正月に帰って来ると、留学の間に谷村
 豊太郎博士「2. 3. 4. の応用計算同表学」(大正) を出
 版された。私はその四月から豫科三年生に実用

解析学と物理解学の二科の教壇の応用を講義し、五月 ~~大正~~
 大正博士の ~~1. 0. 2. 3. 4. の~~ お手付けし、

10

その夏は物理解学の ~~講壇~~ ^{主任} 講壇会で東京、高松、鳥取
 で「同計算同表」を講じた。(この筆記も出版した
 のか。翌年出版された)

大正11年は ~~新~~ 新宮 恒次郎君の「1. 0. 2. 3. 4. の教授」の
 出版年であり、大正12年は松下信雄君の「1. 0. 2. 3. 4. の応用」
 の出版年であり、僕も中尋常師範学校協済会
 で「数学教育の普及」に就いて講じた年である。それ以後の
 2. 3. 4. は ~~出版~~ 出版したとある。

15

更新し。

その席に私は浦口善方先生から、先生か
 リ70カの日を完成されたことを承知した、
 を記憶に残す。

20

23

兩三冊中 = 大學本

m1244年4月
Hessu
報告9抄
又(未刊行)

5 10 15 20

数学教育関係記事 (1953.1 思出)

[古 ~~く~~ ^て ~~重要~~ ^な ~~対~~ ^{して} ~~の~~ ² ~~書~~ ^篇 ~~主~~ ^著 ~~の~~]

1. <5人「算数教育」ヲ流シ、
上巻 下巻
物理教材雑誌 (明治42)

5 2. 欧米諸国ニ関シテ算術教科書ニ就テ
大正2. 「ルニエ コウニエ ニ 初等算術第一巻」附録

3. 文部省教員檢定試験内記、批判 ルニエ、改良私見。
大正4稿。 現代、科学 (大正6年)

10 4. 数学ノ為メノ教員ト 生ノ為メノ数学
(大正8) 「算、方」

5. 理論数学ト 实用数学トノ交渉
大正8. 物理教材。
府立大医科大ニ採科入学試験内記ニ就テ

6. 大阪医科大学 豫科 数学 科目 課程ニ就テ。 日本中等教育 大正8. (「中等世界」)

6'. 「ルニエ」 初等代表者ノ一序 (大正8).
数学會雑誌 (大正8).

7. 津村又次郎合著「ルニエ」上其推广 大正9

8. 「四計算 ルニエ 四表」一序 大正12.

9. 数学教育ノ意旨 日本中等教育協會 大正12

10. 数学教育ノ根本内記 大正13 「算、方」

11. 数学教育ノ精神 「教育雑誌」 大正14

12. 米國ニ関シテ中等教育数学ノ改造 (抄訳). 「算数教育冷評」第一輯 大正14
「統計的研究」一序 大正14 (明治43)

20 23 13. 数学教育ニ関シテノ基礎 「算、方」臨時号(第35号) 大正14

「中等世界」
「算、方」
中等生
ノ
満
鉄
法
ニ
関
ス
ル
日
授
入
学
規
則
ニ
関
ス

5

10

15

20

14. ボール「幾何学」の「代表学」序

15. 「ラッパ、ワック 初等数学、基礎」序

昭和2

16. 「ザンブニ 実用解析学」序

昭和3

17. 「カジヨリ 初等数学史」序
数学教育史

昭和3

18. ジョルジョーニ「初等数学、実用性」(新文化社「ジョーニ」)
初等実用数学」序) 昭和5 (1930)

~~19. 「ヤン、モルガン 初等数学解析」序 昭和6 (1931)~~

21 教員養成機関の一使命
トニテ各科教育、科学的研究
— 例ヲ数学教育ニ取リテ —

「学校教育」202号
(学制改革番号) 昭和6

外ニ 史論 (改造 思想)

15 ~~中ニ~~ 中ニ、数学教育史ヲ含ニテ居ル
新解釋

算術ニ於テハ
実用内包ノ意ヲ
「学術研究」(新
9第街号) 昭和4

20

23

グラフの思い出

東氏ノ書 曾田君ノ法

これは新一個人の手記に違いない。浦口善為氏、林先生、等の15回を回技生と

今日でもグラフを教へる中子村が日本人あり

5 加藤氏ノ序の引用

ボリス Chyatal, クリスタル

Klein

Engel = 307 Nomography 7 未知 [三地方新刊] 42717 + 17 2/163 的證明

標準曲線 1771-3774-1入内

Borel-Stückel (), Behrendian 1冊(1911) 森記

藤原教授給手 東北大学ノセリナ (小島東)

第三巻教ノ三年 セリナ 小森重三君

林先生ノ著書に 1931年 小島東

岩手県ノ中子村ノ奉職中ノ故 三浦君市君が、仙台ノ松宅ニ 来リシテ、1932年 13巻ヲトス

1911 44 45 1 2 3 4

大正中ノ文藝

大正8年 森氏ノ著書 谷村氏ノ著書

大正8年 曾田先生ノ法ニ 三浦君ニ相伝ス

君ノ書ニ 1932年 1冊ヲ著ス

大正9年ノ秋ヨリ古澤一夫君ニ Runge, Graphical methodヲ指導ス

大正8年ノ日土講習会ニ nomography 長崎興中子村ノ講習会ニ (上田君)

統計法ノ課程ニ 統計法 (医学生ノための人々)ノ補修的講習会ニ Yule & Kingヲ用ス

29年12月 洋行

大正11年1月 14日 常朝、4月より

20 予備科三年ニ 実用的数学ヲ準備ス

大正12年 予備科三年 同上 大正11年 夏期講習会ニ 統計法

23 14年 予備科3年ニ 統計法ヲ準備ス